

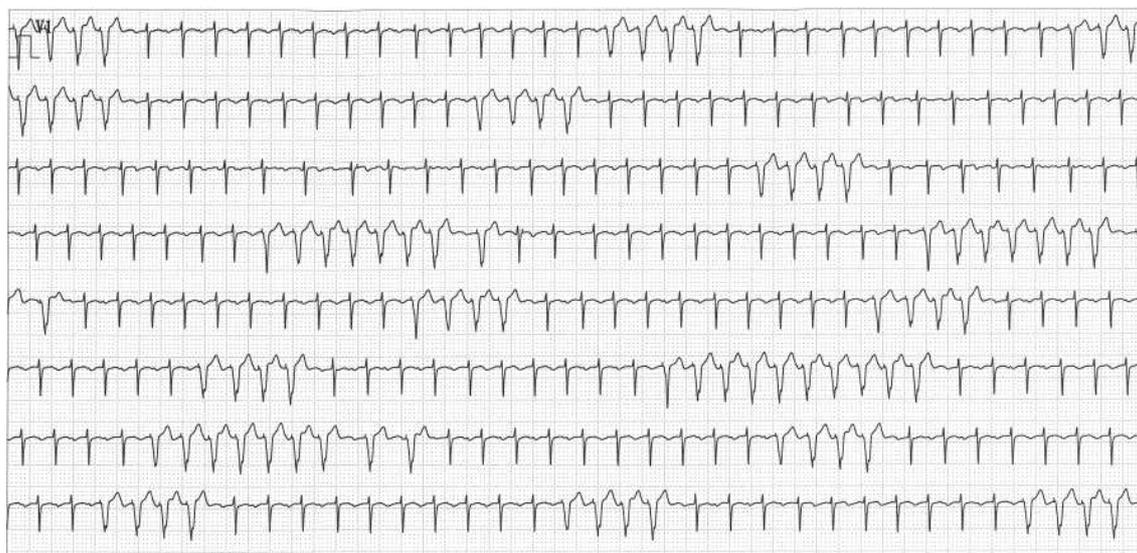
非持続性心室頻拍で紹介になった症例

60代女性。1年前に大動脈弁閉鎖不全で人工弁置換術後。発作性心房細動に対してピルシカイニド 150mg/day 内服中。24時間心電図で心房細動停止の際11秒の心停止確認されペースメーカー植込み目的で当院紹介となった。ペースメーカー植込み前に行った心臓電気生理学的検査は、AH時間：180msec、HV時間：76msec、最大洞結節回復時間：8.6sec、ウエンケバッハレート：100ppm、房室結節有効不応期：370msecで洞機能の低下、やや房室結節の伝導障害を認めた。ジェネレータは、St jude medical社製 ZephyrDR5820を左前胸部、心房リードは右心房中隔に日本ライフライン社製シンライン 438-35S、心室リードは右室心尖部に St jude medical 社製テンドリル 1688T を植込みを行った。植込み後は紹介先で定期検査の方針となった。1年後動悸を訴え紹介先で実施した24時間心電図で非持続性心室頻拍の頻発で再度当院紹介となった。当院で行ったペースメーカー点検の際には同様の所見は確認できなかったが、12誘導心電図実施のさいに胸部誘導に同様な作動が記録された。原因と対処を議論したい。

24時間心電図 心室頻拍? 心室ペーシング?



長時間心電図(12.5cm/Sec)



当院で実施した12誘導心電図

